



地下鉄車体ロゴマーク



トロリーバス開通記念試乗券
(昭和35年9月27日)



地下鉄天王寺昭和町開通記念試乗券
(昭和26年12月20日)



市バス乗車券
(開業前、昭和2年)



市バス回数券
(昭和13年12月20日)

第85回企画展 **Osaka Metro 開業1年**

大阪市営交通 114年の軌跡

2019(令和元)年

10月9日(水)～12月2日(月)

【会場】3階企画展示室
【開館時間】9時30分～16時30分(入館は16時まで)
【休館日】10月15日・29日、11月5日・12日・19日
【入館料】大人400円 団体300円(20名以上)

11月16日(土)・17日(日)は
「関西文化の日」のため入館無料

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。受付カウンターに障がい者手帳等をご提示ください。



市バス住吉線チラシ
(昭和10年8月3日)



片道乗車券
(創業時1銭、明治36年10月)



市電車掌カバン
(昭和40年代)



地下鉄梅田新大阪開通記念試乗券
(昭和39年9月24日)



地下鉄野田阪神桜川開通記念乗車券
(昭和44年4月16日)

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <https://www.sankokan.jp/>

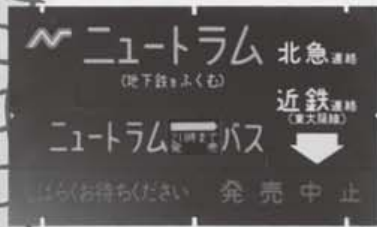
天理大学附属
天理参考館
ウェブサイト



【後援】天理市・天理市教育委員会・共同通信社・大阪市高速電気軌道株式会社
大阪シティバス株式会社・歴史街道推進協議会

第85回企画展 大阪市営交通114年の軌跡

古くから“水の都”と呼ばれた大阪市において、明治36年、日本で初めて公営の電気軌道(路面電車)として大阪市電が開業しました。大阪市は民間企業ではなく自ら電鉄経営を行うことで計画的な都市整備を行うとともに、その収益を道路拡幅や橋梁新設・架け替えなど都市整備に活用する「市営主義」を推し進めたのです。その後、昭和2年に市営バス開業、同8年には地下鉄を開業し、戦時中は大きな被害も被りましたが、徐々に地下鉄の路線を延ばしました。やがてモータリゼーションの進展に伴って同44年に市電を廃止し、同45年の万国博覧会開催時には現在の形に近い地下鉄網が完成しました。大阪市は行政改革の一環として、平成30年に大阪市交通局の事業を大阪市高速電気軌道(地下鉄・ニュートラム)と大阪シティバス(市営バス)に引き継ぎ、大都市の公営交通として初めて完全民営化が実現しました。本展では、乗車券や路線案内図、鉄道部品などからその114年の歩みをたどり、市民の足としてだけでなく、大阪の街を形づくったと言える市営交通が与えた影響と意義について紹介します。



①



②



③

形式	6400
定員	150人
自重	31.0t
製造	昭和44年10月

④

【関連イベント】※入館券が必要です。

会場：研修室 定員：100名(当日先着順)

■記念講演会

「大阪市と市内交通機関市営主義 ―モノロー主義の成立と終焉―」

講師：三木理史氏(奈良大学文学部 教授)

日時：11月30日(土) 13:30~15:00

■OBによるミニトーク

「大阪市交通局40年の思い出を語る」

講師：亀井英胤氏(元大阪市営地下鉄難波駅 首席助役)

日時：11月2日(土) 13:30~14:10

■トーク・サンコーカン

「資料でたどる大阪市営交通114年のあゆみ」

講師：乾 誠二(学芸員)

日時：10月19日(土) 13:30~15:00

■ギャラリートーク(展示解説)

日時：10月25日(金)、11月26日(火) いずれも13:30~

会場：3階企画展示室

■鉄道模型走行実演と記念硬券キップの配布

日時：10月16日(水)、27日(日)、11月2日(土)*、13日(水)、23日(土)

いずれも11:00~、14:30~の2回 ※11月2日は午後のみ

会場：3階ロビー(会期中常設)

鉄道模型走行実演終了後、記念券を配布し日付印字(出札)を体験していただけます

11月10日(日)に天理駅前広場コフアンにて駅員体験ワークショップを開催します(要参加費)

詳しくは公式ウェブサイトにてご確認ください



⑤



⑥

①ニュートラム自動券売機前面案内板(昭和62年)

②市営観光バス団体案内旗(昭和50年代)

③市電廃止ワッペン(昭和44年3月31日)

④地下鉄車両形式板(昭和44年)

⑤地下鉄車内貼り路線図(昭和45年)

⑥地下鉄75周年記念乗車券(昭和53年9月12日)

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <https://www.sankokan.jp/>



アクセス：JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分

西名阪天理インターより南へ約3km(駐車場あり・無料)

※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります。

天理大学 附属

天理参考館ウェブサイト

天理参考館

検索



展覧会のお知らせ

特別展示「明治から令和まで 元号ゆかりの書物たち ~『易経』から『万葉集』まで~」《会期》2019年10月16日(水)~10月28日(月) 《会場》3階ロビー

創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化 -オリンピックの源流-」《会期》前期:2020年4月17日(金)~6月8日(月) 後期:6月24日(水)~8月2日(日)